

<資料3>

令和2年度 藤枝市行政サービス評価委員会

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

藤枝市

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

①コンパクト+ネットワークで創る健康都市

数値目標	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率
中心市街地区域内の居住人口	10,811人	10,811人	10,957人	101.4%
中山間地域活性化施設等の年間利用者数	292,000人	292,000人	266,216人	91.2%

中心市街地活性化推進課

中山間地域活性化推進課

NO	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
1	中心市街地区域内の従業者数	1,300人	1,300人	1,413人	108.7%	中心市街地活性化基本計画の主要事業を中心とした活性化事業の推進や駅前地区市街地総合再生基本計画に基づく市街地再開発事業等の取り組みにより、従業者数のさらなる増加を図る。	中心市街地活性化推進課
2	優良田園住宅指定箇所	3箇所	3箇所	3箇所	100%	稲葉小周辺への整備が促進されるよう事業者等への働きかけを実施する。また、稲葉地区(堀之内)における新たな区域設定の可能性について検討を進める。	中山間地域活性化推進課
3	産業用地確保面積	8ha	8ha	10.2ha	127.5%	民間遊休地も含め、企業の受け皿となる産業用地の早期確保に努める。	産業集積推進課
4	地区交流センター・公民館の年間利用者数	470,000人	470,000人	490,945人	104.5%	多くの団体にとって気軽に使いやすい身近なセンターにするため、引き続き情報発信やサービスの充実を図る。	協働政策課
5	広域幹線道路(主要9路線)の平均通行時間	16.5分	16.5分	18.8分	87.8%	(都)三輪立花線横内令和橋の開通により、主要渋滞箇所の渋滞が緩和傾向となったが、これまでの人口増加による交通発生に対し、整備効果が鈍化していることが要因と考えられる。通勤時間帯の広域幹線道路の渋滞状況を把握し、着手事業の効果的な事業展開やその他対策案を検討する。	道路課
6	自主運行バス路線等総延長	109.6km	109.6km	116.9km	106.7%	地域住民や路線バス利用者のニーズを把握し、より実情に応じた路線を検討していく必要がある。	公共交通政策室
7	中心市街地の歩行者通行量	10,300人	10,300人	10,389人	100.9%	中心市街地活性化基本計画の主要事業を中心とした活性化事業の推進や駅前地区市街地総合再生基本計画に基づく市街地再開発事業やリノベーションによるまちづくりの取り組みにより、歩行者通行量のさらなる増加を図る。	中心市街地活性化推進課
8	地域イベント来場者数	7,512人	7,512人	19,383人	258.0%	引き続き各施設の魅力を生かしたイベントを開催する。施設間のネットワークづくりを支援し、お互いのイベント情報を共有、発信することで、効果的な情報発信を行う。	中山間地域活性化推進課

NO	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
9	花に関するイベントへの来場者数	247,900人	247,900人	312,004人	125.9%	花回廊事業の取り組みが、より多くの市民に周知されるよう、SNS等を利用し積極的に情報発信していく。	花と緑の課
10	蓮華寺池公園への年間入込客数	164万人	164万人	136.7万人	83.4%	蓮華寺池公園のさらなる魅力アップを実現するため、再整備計画に基づく施設整備の推進や四季を通じた花の魅力発信等を促進する。	花と緑の課
11	中心市街地の緑視率	22.7%	22.7%	21.3%	93.8%	前年度測定時の特殊要因(一丁目8街区の街路整備)による大幅な低下からの復元が見えてきているが、剪定時期などに左右されないような、新たな施策を関係各課と協議、検討していく。	都市政策課
12	市全体のCO ₂ の年間排出量	927.1千t	927.1千t	1,071.4千t	86.5%	再生可能エネルギー導入や省エネルギー活動を促進するために、事業所等に対し、セミナーで各種支援策情報を提供するなど支援機関を活用した相談窓口を設ける。	環境政策課
13	環境マネジメント取得事業所数【累計】	95社	95社	85社	89.5%	エコアクション21の認証取得については個別支援制度をPRする。また「ふじえだエコチャレンジ」で従業員の継続した環境活動を支援し、エコアクション21認証取得への足がかりとしてもらう。	環境政策課
14	太陽光発電設備最大出力	80,000kW	80,000kW	54,600kW	68.3%	引き続き住宅用太陽光発電設備設置費補助金を継続し、設置を呼びかけていく。	環境政策課
15	家庭から排出される燃やすごみ市民1人1日あたりの排出量	403g	403g	409g	98.5%	ごみ減量資源化説明会を効果的に行うため、違反ごみや排出量が多い地区で開催し、住民意識を高める。生ごみ分別収集実施地区を更に拡大する。生ごみ処理機やディスプレイの補助制度を周知し、導入促進を図る。	生活環境課
16	登下校時における小学生・中学生の交通事故発生件数	0件	0件	8件	0%	登校指導や自転車教室等の回数を増やし、交通安全教育の徹底を図る。小中学校の内訳や事故内容を検証し、必要であれば警察や学校と協議して、引き続き通学区域内における交通安全対策を実施する。また、学校から提出される危険箇所について効果的な安全対策を推進し、登下校中の小中学生の事故撲滅に努める。	交通安全地域安全課・道路課
17	人身交通事故発生件数	1,150件	1,150件	929件	123.8%	交通事故全体の件数は年々減少傾向にあるが、依然として高齢者による交通事故割合は高いため、高齢者の交通事故を防止するための施策の実施及び啓発活動を強化する。市民生活に密着する生活道路の安全性と快適性を高めるため、歩道の整備や交通安全対策を実施するとともに、自転車通行空間の整備を推進し、自転車対歩行者の交通事故の発生を抑制していく。	交通安全地域安全課・道路課
18	防災訓練に参加した市民の割合	29.0%	29.0%	28.6%	98.6%	新型コロナウイルス感染症対策により、多くの市民が集まる地域防災連絡会や出前講座が実施できないという現状から、「家庭内の防災対策」を中心とした訓練や啓発を実施し、防災意識の高揚を図る。	地域防災課
19	災害時情報配信システム登録人数	7,000人	7,000人	7,783人	111.2%	新たな防災役員が集まる防災研修会、地域防災連絡会や出前講座等あらゆる機会を通じ、多くの市民に活用していただくよう周知に努めるとともに、イベント情報など他分野情報を含め、全庁体制により登録増に努める。	大規模災害対策課

NO	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
20	緊急輸送路に甚大な被害を及ぼす可能性のある跨道橋の耐震化率	100%	100%	100%	100%	耐震補強に関しては社会資本整備総合交付金(防災・安全)を活用していたが、次年度から「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」要件に伴う重点配分事業でなくなるため、今後は老朽化対策と併せ、今年度より創設された道路メンテナンス事業補助にて対応していく方法を検討する必要がある。	道路課
21	耐震性が劣る住宅数	6,191戸	6,191戸	5,739戸	107.8%	耐震補強計画と補強工事を一体とした木造住宅耐震補強計画補強工事業の補助制度により確実に補強工事まで導く。また、わが家の専門家診断事業に専門家の無料相談を追加し、補強計画の策定で留まっている方に補強工事を促す。	建築住宅課
22	準用河川整備延長	46,325m	46,325m	46,325m	100%	河川の流下能力が低く、浸水被害の恐れがある箇所について河川改修を進め、災害の軽減を図る。新規河川改修の計画策定に努め、円滑な河川改修を目指す。	河川課
23	水道基幹管路耐震化率	43.6%	43.6%	55.1%	126.4%	令和元年度に策定した「藤枝市水道事業基本計画・経営戦略」に基づき、基幹管路の耐震化を着実に進め、令和22年度末までに基幹管路の耐震化率100%を目指すことで、災害に強い水道システムの構築を図る。	上水道課
24	下水道管路情報の電子化	L=310km	L=310km	312km	100.6%	令和元年度工事分について更新業務委託を早期発注し、目標達成を目指す。	下水道課
25	公共施設適正総量の維持	404,113.07㎡	404,113.07㎡	420,983.83㎡	104.2%	第一に「長寿命化の推進」に取り組み施設総量を維持していくが、今後の社会情勢の変化などにより「長寿命化の推進」以外に取り組む必要が生じた場合は、利用者をはじめその他広く意見を伺いながら必要に応じて施設総量の適正化に取り組んでいく。	資産管理課

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

②産業としごとを創る健康都市

数値目標	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率
創業支援件数【累計】	133件	133件	489件	367.7%
市税収入額増加率(H26年度実績を基準(100))	105%	105.0%	98.4%	93.7%

創業支援室

産業政策課

NO	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
26	農商工連携製品創出数	37件	37件	75件	202.7%	今後は、専門家などを活用し、販路やターゲットを絞り込んだ商品づくりに取り組む。「作りたい商品」が「買いたい商品」となるよう支援する。	産業政策課
27	経営革新計画承認件数【27年度から累計】	30件	30件	49件	163.3%	引き続き、中小企業の新たなチャレンジを支援するため、産業コーディネーターをはじめとした各支援機関と連携していく。	産業政策課
27-ア	市内企業でICTを新たに導入した企業数	18件	18件	34件	188.9%	キャッシュレス決済の推進による事業効果はある程度得られたことから、今後はAIの導入事例をPRしていき、労働生産性の向上に向けたさらなるICTの導入に向けた支援を実施していく必要がある。	産業政策課
28	空き店舗活用チャレンジ支援事業補助金利用件数	5件	5件	5件	100%	近年は目標を達成しているが、さらなる活用に向けて、起業を前提とした短期試行の掘り起こしを行う。ただ、新型コロナウイルスの影響が見通せないため、状況を見極めて「開業チャンス！応援事業」と合わせた全面的な見直し作業を進める。	商業観光課
29	開業チャンス！応援事業利用件数(店舗所有者利用分を除く)【累計】	10人	10人	38人	380.0%	目標を上回る実績が続いており、さらなる活用に向けて、空き店舗の情報収集と情報発信を強化する。ただ、新型コロナウイルスの影響が見通せないため、状況を見極めて「空き店舗活用チャレンジ支援事業」と合わせた全面的な見直し作業を進める。	商業観光課
30	ふじえだ・まちゼミ参加店舗数	52店舗	52店舗	66店舗	126.9%	参加店舗数は目標を上回る成果を上げているため、今後は参加店舗主の情報交換機会の拡大を通して、各店舗の創意工夫を促すとともに、感染症対策に万全を期して消費者との信頼関係の構築を推進する。	商業観光課
31	藤枝型買い物支援サービス応援事業活用団体数【累計】	20団体	20団体	28団体	140.0%	目標値を上回る成果を上げているが、庁内福祉部門等の支援が充実する中で、本課としては、民間事業者の積極的な事業立ち上げを促し、採算が取れる事業展開に向け支援できるよう、補助上限等の上乗せ等を行う。	商業観光課
32	農用地利用集積面積	955ha	955ha	850.6ha	89.1%	地域における話し合いに基づく人・農地プランの実質化を推進し、地域農業の将来を担う農業者への農地集積・集約を図る。	農林課

NO	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
33	認定農業者の年間農業所得目標の達成率	45.0%	45.0%	3.7%	8.2%	各種補助制度を活用し、認定農業者が行う施設整備、機械導入等への支援を行うとともに、認定農業者への農地集積・集約を推進し、認定農業者の経営基盤強化を図る。	農林課
34	認定就農者数(新規就農者)育成目標数到達率	81.5%	81.5%	77.8%	95.5%	農業次世代人材投資資金事業により、新規就農者の経済的安定を図るとともに、就農希望者の研修先や農地の確保に対する支援を充実させ、新規就農者の育成を推進する。	農林課
35	地域住民による農地等保全活動の取組面積	255ha	255ha	185.3ha	72.7%	取組団体への支援を続けるとともに、多面的機能支払交付金事業の周知を行い、新規活動組織の立ち上げを目指し、取組面積の増加を図る。	農林課
36	農業基盤整備促進事業受益農地面積	30.0ha	30.0ha	36.5ha	121.7%	限られた財源の中で効率よく、用排水路の整備を進め、受益農地面積の増加を図る。	農林課
37	フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト参加企業数	37社	37社	76社	205.4%	今後は更に、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションとの連携を密にし、市内事業者への情報発信強化に努め、参画事業者の増加を進める。	産業政策課
38	企業立地件数【累計】	58件	58件	87件	150.0%	民間遊休地も含め、企業の受け皿となる産業用地の早期確保に努めるとともに、トップセールスやワンストップサービスの充実・強化により、企業の定着と誘致を推進する。	産業集積推進課
39	企業立地優遇制度による設備投資額【累計】	290億円	290億円	360億円	124.1%		産業集積推進課
40	FEG支援センター「エフドア」活用件数	450社	450社	352社	78.2%	産業コーディネーター1人体制では、相談件数に限界がある中、「エフドア」のこれまでの取組み実績の発信と、事業者に寄り添った伴走型支援や、積極的な企業訪問に取り組んでいくことで、相談件数の増加に繋げていく。	産業政策課
41	FEG戦略プログラムによる新商品、新サービス開発数	36件	36件	47件	130.6%	積極的な企業訪問等を通じて、ビジネスマッチングの推進を図っていく。	産業政策課
42	女性の創業支援者数【累計】	315人	315人	432人	137.1%	例年目標達成できているため、引き続き女性の起業を支援するセミナーを開催していく。	創業支援室
43	男女共同参画推進事業所認定数	33事業所	33事業所	33事業所	100%	認定数を増やすため、これまで認定されていない企業への周知を行う。あわせて、認定企業へのより魅力的なインセンティブを検討する。	男女共同参画・多文化共生課
44	労働環境改善事業を活用した施設改善等の事業所数	2事業所	2事業所	6事業所	300%	中小企業者の労働環境の改善を促し、女性や若者が働きやすい環境を作ることは、今後の若年者の従業員の確保に繋がることから、引き続き制度の周知を図っていく。	産業政策課

NO	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
45	資格取得支援事業を活用した国家資格取得者数	15人	15人	0人	0%	事業所への制度周知が足りないのか、問い合わせも少なく、実績に結び付かなかった。しかしながら、中小企業で働く従業員の人材育成に有益であり、若年者のモチベーションアップにもつながることから、引き続き制度の周知を図るため、HPへの掲載など情報配信の強化に取り組む。	産業政策課
46	シルバー人材センター登録者数	1,100人	1,100人	886人	80.5%	今後も引き続き、積極的な就業確保に努め、シルバー派遣事業にも積極的に取り組み、高齢者の多様な就業に対応していく。会員確保のため、シルバー人材センターと協力し、広報誌等を活用し広報に努める。	産業政策課
47	福祉施設利用者の一般企業等に就職した年間人数	27人	27人	17人	63.0%	障害者の一般雇用については、企業の経営状況に左右される状況があることから、農福連携事業やテレワーク事業などを通じ、障害者への理解を深めるとともに、ハローワーク等の関係機関と連携し、企業訪問を行うなど障害者の就労支援体制の充実に向けた課題解決に取り組んでいく。	自立支援課

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

③ひとの流れを創る健康都市

数値目標	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率
年間観光交流客数	250万人	250万人	248万人	99.2%
転入者数	4,953人	4,953人	4,580人	92.5%

商業観光課

企画政策課

NC	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
48	県外からの転入者数の増加	1,800人	1,800人	1,836人	102.0%	コロナによる影響はあるが、首都圏における移住相談会への参加や採用ガイダンスに参加するとともに、移住・定住促進事業の補助拡充により転入者増加を図る。	企画政策課
49	ふじえだ住まいのコンシェルジュにより移住・定住に結び付いた人数	100人	100人	102人	102.0%	静岡移住相談センターにて「出張相談会」を開催し、移住者のニーズを的確に把握する。	広域連携課
50	空き家バンクで移住・定住に結びついた世帯数	33世帯	33世帯	44世帯	133.3%	移住した母親が組織した移住支援団体に移住・定住にかかる相談業務を委託。団体との連携によりきめ細やかな移住支援を進める。	中山間地域活性化推進課
50-ア	20～30代の転入者数	2,940人	2,940人	2,577人	87.7%	民間活力を活用したより良いシティ・プロモーション事業や移住・定住促進事業の補助拡充により転入者増加を図る。	企画政策課
51	市内に就職した年間就職者数(連携4大学)	62人	62人	48人	77.4%	「藤枝市産学官連携推進センター」を中心に学生と企業とのマッチングや学生による地域企業探索などの取組を支援する。	企画政策課
52	子育て世代(20～40代)の転入者数	3,449人	3,449人	3,078人	89.2%	民間活力を活用したより良いシティ・プロモーション事業や、子育て世代を対象とした移住・定住促進事業の補助拡充により転入者増加を図る。	企画政策課
53	地域資源発掘・育成講座の年間参加者数	194人	194人	269人	138.7%	地域資源を発掘する人材、また地域資源を活用して体験型観光に繋げる人材を育成する講座にて、実績を有する人物を講師に招くなど魅力的な内容として、参加者数の増加を図る。	商業観光課
54	体験型観光プログラム年間参加者数	2,800人	2,800人	2,338人	83.5%	新たな体験型観光プログラムを開発し、より多くの参加者が地域資源に触れられる環境を整え、参加者数の増加を図る。	商業観光課

NC	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
55	外国人観光交流客数	25,800人	25,800人	35,460人	137.4%	観光案内所での多言語対応、外国人にもわかりやすい動画での市観光情報発信を強化し、来訪交流人口の拡大に繋げていく。	商業観光課
56	国内友好都市年間交流件数	58件	58件	50件	86.2%	庁内に友好都市事業の推進を図るとともに、補助金制度等の内容を広報に掲載し、市民(団体)レベルでの交流を活性化させる。	広域連携課
57	国外姉妹都市年間交流人数	1,560人	1,560人	1,163人	74.6%	ペンリス市との交流が35周年を迎え、一区切りしているため、新たな交流の形を検討し、交流人口を増加させる。	広域連携課
58	歴史文化施設来場者数	161,250人	161,250人	195,465人	121.2%	市内外を問わず他の観光施設などからの回遊性を高めることにより、来館者の増大やリピーターの確保を目指す。	街道・文化課
59	サッカーに携わる人の数	3,100人	3,100人	3,764人	121.4%	女子サッカーの競技人数の向上を図るとともに、選手のみならず、指導者や審判員の拡大を図る。	サッカーのまち推進課
60	女子サッカーの競技人数	350人	350人	221人	63.1%	藤枝なでしこ広場の継続して開催し、幼児から小学生年代の女子サッカー選手の増加を図るとともに、中学生年代での活動の場の創出を図る。	サッカーのまち推進課
61	ふるさと応援寄付金収入額	3億円	3億円	4.4億円	146.7%	寄付サイトの周知・拡大やガバメント・クラウドファンディングなどの新たな手法の導入検討により、寄付額の確保及び藤枝ブランドの拡充・発信を図っていく。	企画政策課
62	茶改植等面積	8ha	8ha	8.3ha	103.8%	今後、基盤整備を推進し、改植・新植を進めていく。	お茶のまち推進室
63	藤枝ジュニアお茶博士認定数	356人	356人	289人	81.2%	コロナウイルスの影響により講座が中止となったため、7月に延期して開催予定。また、R2年度分はR3.3月に開催予定。募集の際に、お茶関連のクリアファイル通知をに入れ配付し、参加を促す。	お茶のまち推進室
64	年間宿泊客数	173,000人	173,000人	232,018人	134.1%	富士山静岡空港を離発着する国際線の便数、就航先に合わせた観光誘客活動を、近隣市町と組織する広域観光連携協議会で行い、来訪交流人口の拡大を図る。	商業観光課
65	自治会と市民活動団体等との年間連携事業数	19事業	19事業	20事業	105.3%	地区交流センター等を通じて自治会・町内会と市民活動団体とのマッチングを図り、連携事業の拡大に努める。	市民活動団体支援室

№	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
66	ボランティア登録者数	1,000人	1,000人	1,185人	118.5%	DL3「藤枝ボランティア(Fボラ)」登録者の活動機会の提供。市民活動団体とFボラをつなげるマッチングイベントを考えていく。 DL4「買い物弱者支援」の支援・利用拡大促進を行う。	市民活動団体支援室
67	市民活動団体数	500団体	500団体	555団体	111.0%	令和元年度に実施した実態調査により見えた課題の解決へ向けて団体支援を考える。	市民活動団体支援室
68	福祉ボランティアの登録団体数	214団体	214団体	224団体	104.7%	第4次藤枝市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基に、地域福祉懇話会などの意見も踏まえながら効果的な活動につながるよう継続して支援を行う。 あわせて、第5次藤枝市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定を睨み、ボランティア活動に関する現状と課題を把握するため、ボランティア団体等を対象に、「地域福祉実態調査」を実施する。	福祉政策課
69	福祉ボランティアの登録者数	5,160人	5,160人	4,922人	95.4%		福祉政策課
70	認知症サポーター養成講座参加者数	19,000人	19,000人	18,245人	96.0%	認知症養成講座を定期開催することで、市民が受講したいときに受講できる体制を整える。認知症ネットワークガイド第4版の周知と合わせて養成講座の周知を行う。	地域包括ケア推進課
71	介護予防普及啓発事業参加者数	4,120人	4,120人	4,385人	106.4%	各地域包括支援センターの工夫や地域の特性に合わせ、ふれあいサロン、老人クラブ、アクティブクラブ等様々な場面で啓発を行う。	地域包括ケア推進課
72	要支援要介護認定を受けていない高齢者の割合	86.0%	86.0%	84.4%	98.1%	生きがいデイサービスは、男性参加者が少ないため、さわやかクラブを通じてのPRや毎月取り組んでいる65歳への介護保険説明会の場などを活用し、男性への周知活動に努めて、参加者の増加を目指していく。	地域包括ケア推進課
73	在宅看取り率	20.0%	20.0%	15.9%	79.5%	在宅看取り者数は増加しているが、総死亡者数の大幅な増加により、在宅看取り率が減少している。老人ホームが死亡場所となっている数も増加しており、サ高住や有料老人ホームを在宅と考える等、在宅の考え方の検討が必要。	地域包括ケア推進課
74	自立相談支援事業利用件数	300件	300件	437件	145.7%	令和元年度と同様、アウトリーチを積極的に行い生活保護に至る前の段階から早期に支援していく。	自立支援課
75	学習チャレンジ利用者高校進学率(生活に困窮した家庭の子ども対象)	100%	100%	100%	100%	進学率100%をこのまま維持していきたい。強制はできないものの、教育費の負担が少ない公立高校への進学者を増やしたい。	自立支援課

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

④出会いと子どもの未来を創る健康都市

数値目標	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率
出生数	1,095人	1,095人	866人	79.1%
婚姻件数	710件	710件	586件	82.5%

企画政策課

企画政策課

NO	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
76	結婚応援事業の参加人数	110人	110人	138人	125.5%	引き続きセミナー・イベントを一体で実施し、より多くの参加者が見込まれるような企画を行う。	男女共同参画・多文化共生課
77	子育てにやさしいまちづくりイベント参加者数【累計】	300人	300人	851人	283.7%	「ママシネマ事業」を継続実施するとともに、新たな事業展開により、子育てにやさしいまちづくりをさらに推進し、“子育てにやさしいまち”“子育てしやすいまち”を実感させ、定住・来訪の動機付けを図る。	中心市街地活性化推進課
78	地域子育て支援拠点での年間相談対応件数	5,000件以上	5,000件以上	2,710件	54.2%	子育てに係る多様な相談に対応できるよう、静岡県看護協会など関係機関と更なる連携強化を図るとともに、個々に応じたきめ細やかな相談体制により、子育て中の親の育児不安の解消に繋げる。達成率が低い要因は、「子育てフェスタ」「まちの保健室」事業等においても相談窓口を設けたことで相談者が分散したこと、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館し、相談者が減少したことが考えられる。	児童課
79	保育所待機児童数	0人	0人	0人	100%	第2期藤枝市子ども・子育て支援事業計画(期間:R2~R6)に基づき、必要な保育定員の拡大を図り、待機児童ゼロを維持していく。	児童課
80	妊娠・出産に係る継続支援者数(支援プラン作成)【年間】	33人	33人	25人	75.8%	支援を必要と判断した妊産婦全員の計画を作成することができた。(※プラン作成は妊娠届出の約3%を見込む。H31妊娠届出数887件。)今後も継続して実施していく。支援の内容をより充実させ、関係機関と連携していく。妊娠届出者数が年々減少傾向のため、目標値の再設定が必要と考える。(※R2妊娠届出者数予想960件。R2目標値33件だが、妊娠届出者数から考えると29件)	健康推進課
81	保育者の知識・技術向上研修連続受講者数(全10回)	180人	180人	204人	113.3%	幼保園等職員を対象に、発達支援を系統的に学ぶ研修会の進め方について見直しを図りながら、継続して支援者育成を行なう。	子ども発達支援センター
82	特別支援学級設置校数	20校	20校	19校	95.0%	幼稚園・保育園や子ども発達支援センターとの連携を図りながら、早期に対象児童生徒を把握し、スムーズで確実な支援学級設置のために県への迅速な働きかけを行う。また、保護者の思いに寄り添いながら丁寧な就学支援を推進する。	教育政策課

NO	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
83	科学教室参加者数	225人	225人	811人	360.4%	ペーパーやPC、工作道具などの教材及び会場も限りがあるため、多人数参加での開催は厳しいが、科学技術に興味・関心を持つ子どものすそ野を更に広げていくため、子どもたちに多彩な選択肢を与えられる取組が必要である。JAXAや大学等と連携して、子ども達の科学への興味や学びの意欲を高めるため、内容の充実を図る。	生涯学習課 教育政策課
84	進んで挨拶ができるこどもの割合	87.0%	87.0%	85.2%	97.9%	学校評価アンケートの結果をもとに、マナーブックの活用促進や日常のあいさつ運動の充実を図り、子どもだけでなく地域全体に進んで挨拶しようとする気運を醸成する。	教育政策課
85	幼稚園・保育園での親学講座年間受講者数	985人	985人	1,478人	150.1%	講座内容の充実や、幼稚園・保育園へのPRを更に強化する。	生涯学習課
86	ALTとの英語課外活動に参加した児童・生徒数【累計】	700人	700人	1,223人	174.7%	いずれの回も、定員を大きく上回る応募があったため、多くの児童生徒が参加できるような工夫をする。	教育政策課
87	児童1人当たりの図書館での年間図書貸出数	25.6冊	25.6冊	23.7冊	92.6%	静岡県子ども読書アドバイザーや学校図書館司書との連携を強化して、ブックスタート、セカンドブック、読書っ子育成、そらいろ図書館事業等を複合的に推進し、さらなる子ども読書活動の拡充を図る。	図書課
88	ふじえだ型ピア・サポート研修修了者数	288人	288人	287人	99.7%	研修会の内容をより実践的なものにしていく。併せて実際に子どもたちに指導する研修を入れることで、指導者の育成に力を入れる。	教育政策課
89	給食食材への県内地場産品年間使用率	38.0%	38.0%	39.1%	102.9%	生産者から学校給食センターへの直接納入を引き続き促進する。また、市内産の食材を使用した加工品の創出により地産地消を進める。さらに、栄養教諭による給食時訪問等を通して食育を推進することで、更なる地産地消につなげる。	学校給食課
90	ジュニアリーダー育成数	24人	24人	16人	66.7%	野外活動等を授業に取り入れている大学と連携し、大学生の実践活動の場として養成講座を企画し、ジュニアリーダー養成講座の参加者の増加を図るとともに、ジュニアリーダーの活躍の場をつくる。	生涯学習課
91	放課後子ども教室参加者数	520人	520人	554人	106.5%	現在開設している教室の継続とともに、新たに地区交流センターや図書館を核とした新たな教室の開設をする。	生涯学習課
92	公民館・交流センター講座年間受講者数	6,250人	6,250人	7,537人	120.6%	講座を検討するにあたり、企画の段階から地域の要望を取り入れ、年齢層にあった講座やイベントを開催することでより多くの参加者を目指す。	協働政策課
93	健康マイレージ達成者数	3,500人	3,500人	2,842人	81.2%	健康経営ガイドブックの周知や健康経営実践プログラムでの活用など、企業従業員の健康づくりを行うツールとして更なる利活用を促進する。また、協力店の掘り起しにより、インセンティブの強化を図る。	健康企画課

NO	KPI名	最終目標値	R1目標値	R1実績値	達成率	今後に向けた改善点	担当課
94	保健講座等年間参加者数	5,742人	5,742人	5,117人	89.1%	自主活動に関する報告の徹底、保健講座のPRを実施。感染症対策に配慮した新しい健康づくり啓発事業のあり方を模索する必要がある。	健康推進課
95	食育指導の実施数	642回	642回	652回	101.6%	令和2年度以降は、学校と調整し、新型コロナウイルスの感染症予防を行いながら、市内全小中学校での食育指導の実施を目指す。	学校給食課
96	がん検診受診率	59.5%	59.5%	61.6%	103.5%	今後も、がんの早期発見を目的として実施しているがん検診について、イベント等の機会を積極的に活用し、検診を定期的に受けることの大切さ等を啓発することで、がん検診受診者の拡大を図る。	健康推進課
97	市立総合病院の正規常勤医師数	125人	125人	114人	91.2%	1人体制となっている診療科について充実を図る。	病院人事課
98	市立総合病院の看護師数	585人	585人	594人	101.5%	適正な看護師数を維持するため、離職防止に努める。	病院人事課
99	休日当番医開業日数	71日	71日	76日	107.0%	引き続き、休日昼間の初期救急医療体制を維持するため、志太医師会との連携、協調を図る。	健康企画課
100	市民体育館・市民武道館の年間利用者数	180,000人	180,000人	186,291人	103.5%	スポーツ施設を有効に活用するため指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活用することで、利用者の利便性向上、効率的・効果的な管理運営を行う。各スポーツ施設のメンテナンス(屋根・外壁等)計画を作成することにより、施設の長寿命化を図る。	スポーツ振興課
101	総合型地域スポーツクラブ数	8クラブ	8クラブ	6クラブ	75.0%	ふじえだマラソンなどのスポーツイベントでは、近隣の大会などを参考に参加者ニーズに沿った大会を開催する。スポーツ推進委員等によるニュースポーツ教室・大会では、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるよう、普及活動に努める。現在6つある総合型地域スポーツクラブの質の向上に向け、関係者と協議を進める。	スポーツ振興課
102	国等スポーツ大会の出場者数	124件	124人	99人	79.8%	オリンピックなどによるスポーツ教室を開催し、各種競技の普及や競技力の向上に努める。また、小学生世代の選手へのサポート体制を強化するため、スポーツの安全確保に関する講習会など、指導者・保護者向けの座学講座を開催する。	スポーツ振興課
103	静岡県トレーニングセンター及びナショナルトレーニングセンターへの輩出人数	常時5人以上	常時5人以上	11人	220.0%	藤枝市サッカー協会と連携し、小中学生年代から高校生年代まで、共有された育成ビジョンを持ち、事業を実施する。	サッカーのまち推進課
104	芸術文化体験事業の参加者数【累計】	14,800人	14,800人	31,248人	211.1%	子ども合唱アカデミーの指導者・担い手育成推進事業の趣旨や成果を広く発信し、学校への専門家派遣を希望する小中学校の拡大を図る。	街道・文化課